

平成29年第4回町議会定例会

町長行政報告

川 本 町

■行政報告の主な内容（29項目）■

特色を活かした活力あふれる産業のまち

- ・米の生産振興 4
- ・畜産振興 4
- ・エゴマの生産振興 5
- ・商業振興 5
- ・観光振興 6
- ・6次産業化 7

便利で快適に暮らせる基盤が整うまち

- ・住宅整備 8
- ・町営住宅の改善 8
- ・道路整備 8
- ・簡易水道 9
- ・水防災・治水対策 9

安心して暮らしやすい生活環境のまち

- ・まげなねっとかわもと 10
- ・交通安全・防犯対策 10
- ・消防団 11

みんなが健康で安心にいきいきと暮らせるまち

- ・国民健康保険 12
- ・介護予防 12
- ・食育の推進 13

夢や希望をはぐくむ教育・文化のまち

- ・学校教育 13
- ・教育環境の魅力化 14
- ・公民館活動 14
- ・社会体育 15
- ・ベンチャーキッズスクール 15
- ・人権教育 15
- ・文化振興 16

人と人が支え合う協働のまち

- ・島根中央高校 17
- ・都市交流 17
- ・企業誘致 18
- ・ふるさと納税 18
- ・窓口おもてなし 19

平成29年第4回町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、師走に入り何かとご多用のところ、万障お繰り合わせの上ご出席を賜り誠にありがとうございます。今年も「光陰矢のごとし」、1年がまたたく間に過ぎ去る感じであります。

開会にあたり、諸議案の説明に先立ちまして諸般の事項についてご報告申し上げます。

先月には第4次安倍内閣が発足しました。衆議院議席3分の2を与党で占める安定基盤を背に、憲法改正も視野に入れ日本の進路の分かれ目に立つ歴史的な政権になりそうであります。また、北朝鮮情勢は緊迫した状況が続いており、新しい内閣のもとで、適切な対策をとられることを期待するものであります。

川本町は非核三原則の堅持とともにあらゆる国の核実験、核兵器の使用に反対し、核兵器の廃絶を目指し、安全で住みよい町を実現するため「非核平和の町」宣言をしたいと考えております。

このたびの選挙では、地方創生の最中にありながら地方のことが話題にあがりませんでした。島根県からは再選された方々に加え、お二人が新しい議員となられ地方の声が国政に活かされるよう、ご活躍を期待するものであります。

先月内閣府が発表した国内総生産GDPの速報値は、個人消費は減少したものの企業業績が好調で16年ぶりに

7 四半期連続のプラス成長となっておりますが、地方経済にはその実感がないところでもあります。

今年も九州北部豪雨災害や台風被害など、全国各地で大きな自然災害が発生しました。本町におきましても、大雨警報や台風の接近に伴って警戒体制を敷いて、災害に備えてまいりましたが、幸いにして大きな被害もなく、胸をなでおろしているところでもあります。

11月6日には、前消防庁次長の^{おおば せいじ}大庭誠司氏を招き防災講演会を開催しました。自治会長ら110人の出席があり、自主防災組織の重要性や国の危機管理の在り方をわかりやすく学びました。これからも危機管理意識を常に持ちながら災害に備えてまいります。

三江線廃止後の代替バスの運行につきましては、運行事業者、ルート、停留所、車輛、運行本数等が決定しております。運行ダイヤについては、島根中央高校の通学時間を考慮し、運賃については鉄道の概ね2倍程度で調整している状況でございます。なお、ランニングコストのJR負担については、県とJRで協議がなされています。

鉄道資産の活用につきましては、JRから再提案された内容を踏まえ、三江線鉄道資産活用検討委員会において協議した結果を、本定例会の全員協議会で報告いたしますので、方向性についてご審議いただき最終的に鉄道資産の取り扱いを決定したいと考えております。

島根中央高等学校創立10周年記念式典が11月19日に、悠邑ふるさと会館で開催されました。参列した約400人が、これまでの歩みやこれから更なる発展に向け、新たに気持ちをひとつにしたところでございます。

また、記念講演には元阪神タイガースの今岡誠^{いまおかまこと}氏を招き、プロとして生きるための貴重なお話を伺いました。今後も高校と連携して高校魅力化に取り組んでまいります。

次に、平成30年度予算編成方針について申し上げます。

地方交付税について、財務省から一定額以上の基金を積み立てている市町村に対し減額する動きがあり注視しているところであります。

編成方針の基本的な考え方については、昨年度に引き続き、川本町第5次総合計画と川本町総合戦略に掲げる目標を達成するため、人口減少対策に重点的に取り組むこととしております。中でも企業誘致の取り組みについては予算特別枠を設け、最優先で事業に取り組んでまいります。

その一方で、経常経費については、その必要性や有効性を十分に検証するとともに、特に施設の運営経費については、前年度予算の5%削減という具体的な目標を定め、徹底した見直しを行うこととしております。

また、平成27年度末に策定した川本町公共施設等総合管理計画の推進に向けて、遊休施設の除却等により、保有施設の削減に積極的に取り組むこととしております。

それでは、町行政の主な動きにつきまして順次ご報告申し上げます。

まず、

「特色を活かした活力あふれる産業のまち」に関する動きについてであります。

(米の生産振興)

はじめに、米の生産振興について申し上げます。

平成29年産米の作況指数は、全国で「平年並み」、島根県は石見部、出雲部とも「やや良」となりました。

また、JA島根おおち川本支所管内の1等米比率は87.8%で、前年の86.9%を上回っております。

30年産米からは、島根県農業再生協議会が生産数量を示すこととなっており、12月上旬に各地域再生協議会へ通知される予定となっております。

(畜産振興)

次に、畜産振興について申し上げます。

JA島根おおち地区本部管内子牛共進会が11月7日、石見畜産センターで開催され、上田憲徳うえだけんとくさんの「めぐみのいと号」が首席を受賞されました。市場の子牛価格は、70万円代で推移しており、今後も優良牛の生産に向け、関係機関と連携を図りながら振興に努めてまいります。

(エゴマの生産振興)

次に、エゴマの生産振興について申し上げます。

今年のエゴマの作付面積は、昨年より1.61ヘクタール増の20.73ヘクタールで、生産者は62戸となっております。また、作柄は昨年に比べ、生育が良い傾向となりました。

川本町エゴマ振興協議会の生産部会では、収穫適期の見極めや収穫後の管理方法などを巡回研修するとともに、大田市でのエゴマ用コンバインによる刈取視察等を行い、部会全体で課題を共有し、川本町全体の生産性向上に取り組んでいます。

(商業振興)

次に、商業振興について申し上げます。

中小企業・小規模企業振興基本条例では、円滑な事業継承の推進が重点の一つになっている中、11月28日には商工会を事務局とし、川本町事業承継推進協議会が発足しました。

関係機関が定期的に情報交換を行いながら、事業承継の諸課題に取り組んでまいります。

なお、個人事業主が町の地域商業支援事業を活用し、弓市商店街の空き店舗で、女性専用のエステティック業を10月に開業されました。

(観光振興)

次に、観光振興について申し上げます。

三江線を利用した観光客の状況につきまして、お昼便の平均乗客は100人を超え、特に10月以降は200人を超える日も多く、商店や町民有志、高校生、観光協会、町職員が中心となって対応しております。

11月8日に開催したJR三江線石見川本駅開業83周年記念イベントでは、昭和9年当時の貴重な写真や記念切符を展示するとともに、川本小学校4年生19人が、プラットホームで子ども心で純粋に川本のエゴマと川本町のPRに努め、その姿に感動したところであります。

駅前の「三江線おもてなしサロン」では、廃止1年前の3月末からサロン来場者をカウントした記念切符を配付しておりますが、11月24日には1万人に達しております。

廃止後の誘客や商店街への影響が課題となる中、乗客の方々を中心にアンケートや要望調査を実施したところであり、この内容を分析し、今後の事業展開に向け商工会や商店等と共有することとしております。

イベント関係につきましては、9月30日、10月1日「輝けイレブン町村フェスティバル」、11月5日「第41回川本町産業祭」、11月12日「川本北地区農業収穫きんさい祭」、11月11日、12日「坂町・川本町特産品フェア」、また11月25日には、道の駅登録10周年を迎えた道の駅インフォメーションセンターかわもとで「記念感謝祭・萬菜市」があり、特産品販売や伝統芸能等

を通し、多くの来場者へ本町をPRする機会となりました。

12月23日には、松江市で「島根スサノオマジック・川本町タウンデー」、来年1月20日、21日には、広島市で「島根ふるさとフェア」が予定されており、特産品販売や観光・移住情報等を発信しながら、誘客につなげてまいります。

(6次産業化)

次に、6次産業化について申し上げます。

5月から稼働した鴨処理加工施設につきましては、9月以降、毎月200羽を超える処理を行っており、今後も計画的に増産していくこととなっております。

「えごま鴨」は、年末商戦に向け、ロース肉スライスやローストの販売が予定されております。

また、Iターン者の^{しばはらのぶゆき}柴原信行さんは、エゴマの生産から加工、販売までの一貫体制を確立され、自家ブランド「アグリムーン」のえごま油の販売が始まっています。

こうしたエゴマ関連商品について、町として高級食品取り扱い店舗等への販路開拓を支援しているところであります。

また、個人企業が町の6次産業化補助金を活用し、自動真空包装機等を設け、三原産米の真空餅など、農産加工品を県外へ安定的に販売していく取り組みも進んでいます。

つづいて、

「便利で快適に暮らせる基盤が整うまち」に関する動きについてであります。

(住宅整備)

はじめに、住宅整備について申し上げます。

今年度の定住促進住宅整備につきましては、多田地区に3棟の整備を進めております。先日入居者を決定し、4月には県内外から3世帯13人の新しい住民を迎えることとなっております。

(町営住宅の改善)

次に、町営住宅の改善について申し上げます。

平成28年度に改訂した「川本町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、改良住宅の屋上防水工事を実施するとともに、川本団地1号棟のエレベーター設置工事設計業務と谷戸住宅の屋根替え工事を発注しました。

(道路整備)

次に、道路整備について申し上げます。

町道中倉日向線改良工事につきましては、今年度事業として本線掘削工事が終了し、現在、ブロック積工事を施工中であり、11月末現在の進捗率は85%となっております。

町道三原古市線新設工事につきましては、第1工区、第2工区とも本線の伐採が完了し、掘削工事に入っております。

す。11月末現在の進捗率は、第1工区48%、第2工区41%となっております。

一般県道川本大家線は、三俣地内の落石に伴い通行止めですが、既に迂回路の仮橋も完成し、12月22日から片側交互通行により通行止めを解除する予定と報告を受けております。

(簡易水道)

次に、簡易水道について申し上げます。

国の簡易水道再編推進事業と生活基盤近代化事業を活用して、老朽化している配水管及び浄水施設の整備を実施しております。

繰越事業の川本東大橋の配水管布設替え工事につきましては、11月末をもちまして全ての工事が終了しました。

今年度の事業につきましては、因原浄水場の施設整備および紫外線殺菌装置の整備工事、配水池新設工事に伴います送水管および配水管の布設替え工事が、順調に進んでおり、全て今年度末に完成する予定となっております。

(水防災・治水対策)

次に、水防災・治水対策について申し上げます。

本町の長年の懸案事項である、水防災事業、治水対策の早期事業実施に向け、11月に県選出国會議員、国土交通省に対し強く要望をいたしました。

瀬尻・久料谷地区の水防災事業については、来年度より

事業着手に向けて11月に地元期成同盟会と国土交通省との間で、具体的な協議を行ったところでございます。

谷戸・谷・日向地区の治水対策におきましても、早期着工されるよう、引き続き強く要望をしております。

つづいて、

「安心して暮らしやすい生活環境のまち」に関する動きについてであります。

(まげなねっとかわもと)

はじめに、まげなねっとかわもとについて申し上げます。

有線テレビ放送では、町の文化遺産を、後世に引き継ぐことを意識した本町ならではの番組づくりに取り組んでおります。引き続き町民の皆様への情報提供とともに双方向の視点を大切にして親しまれる番組づくりを目指してまいります。

(交通安全・防犯対策)

次に、交通安全・防犯対策について申し上げます。

11月2日、松江市で開催された「交通安全高齢者の主張島根県大会」に石東ブロック代表として、意見発表された本町の中垣^{なかがきけいこ}恵子さんが、見事、優秀賞の島根県交通安全協会会長賞を受賞されました。より一層交通安全意識の高揚につながることを願っております。

また、12月1日に「歳末特別警戒の出動式」を行いました。川本警察署や川本町消防団、地域安全推進指導員をはじめ、防犯ボランティアの方々とともに歳末時期の防犯対策を徹底し、犯罪や火災などがおきないように、地域の防犯活動の取り組みを更に強化することを確認しました。

(消防団)

次に、消防団について申し上げます。

本町消防団は、現在4分団体制で団員175人、定員に対し充足率98%の状況であります。分団によっては団員の確保が難しい状況にあるため、この度分団の再編成を行うことといたしました。

三俣、湯谷、笹畑地区を活動区域としている第三分団について、隣接の分団との再編成を行い、平成30年4月1日からは3分団体制で活動することといたしました。

これまでと同様に火災予防や災害時の対応など地域の安全確保に取り組んでまいります。

つづいて、

「みんなが健康で安心にいきいきと暮らせるまち」に関する動きについてであります。

(国民健康保険)

はじめに、国民健康保険について申し上げます。

来年4月の都道府県化に向けて、県を中心に負担金や保険料負担などの積算作業が進んでおります。

保険税水準につきましては、これまで、県一本化に向け保険税水準を上げてきましたので、新年度に向けては、現行水準を上回らないよう設定していきたいと考えております。特に軽減を受けられる世帯などの保険税が上昇することのないよう検討を進めていくこととしております。

(介護予防)

次に、介護予防について申し上げます。

介護予防日常生活支援総合事業の開始に伴い、要介護認定の更新に合わせ、随時移行を行っております。移行の際には、本人の心身の機能維持、向上に向けたケアマネジメントを行っており、概ね現行相当のサービスを提供するなど、スムーズな移行ができていると考えております。

介護予防・生活支援サービスの強化については、各公民館単位に生活支援コーディネーターを配置するとともに、集いの場としてのサロンの充実を図っています。

また、助け合い活動により地域で生活を支援するボランティアの登録を三原の郷未来塾と川本町社会福祉協議会で行っており、未来塾では、これまでの草刈り等の生活支援に加え、11月からは家事援助や家屋関連の軽作業等の生活支援も開始されるなど体制整備を進められております。

この先進事例を参考に他の地域にも助け合い活動を進めてまいります。

(食育の推進)

次に、食育の推進について申し上げます。

本町では幼児期から高齢者まで、様々な場面を通じて食育の取り組みを行っているところでございます。

そのような中において、この活動の重要な役割を担っていただいている、川本町食生活推進協議会の会長を長年務めていただいた、杉本^{すぎもと}悦子^{えつこ}さんが山陰中央新報社の第51回社会賞を受賞されました。

これは杉本前会長のご努力は勿論、長年取り組んでこられた会の活動の成果として、大変素晴らしいことと考えております。

つづいて、

「夢や希望をはぐくむ教育・文化のまち」に関する動きについてであります。

(学校教育)

はじめに、学校教育について申し上げます。

7年目となる「学び合い学習」は、今年度佐藤^{さとう}雅彰^{まさあき}氏を招き、小・中学校の教員を対象に授業改善の研修を行なっています。小学校から中学校までの9年間を通じて「学び

合い学習」の取り組みを行い、本町の特色ある教育として進めてまいります。

(教育環境の魅力化)

次に、教育環境の魅力化について申し上げます。

日本サッカー協会が行う派遣事業「夢の教室」を10月23日に小学校5年生と中学校2年生のクラスで開催しました。今年には元サッカー選手としてサンフレッチェ広島で活躍された中島浩司^{なかじまこうじ}さんを夢先生として招き、トッププレーヤーとして活躍したアスリートの運動指導や豊富な体験談を通して、夢を持つことやその夢に向かって努力することの大切さ、仲間と協力することの大切さを学びました。

(公民館活動)

次に、公民館活動について申し上げます。

中央公民館では、タブレット教室を実施し、中高年の方々を中心に多くの皆様に参加をいただいております。また、50歳以上の方を対象とした悠々大学では「三江線を利用した川柳の旅」「そば打ち体験」を行いました。

西公民館におきましては、俳句教室や新たなサークル活動団体が発足するなど、新しい動きも現れております。

北公民館におきましては、住民主体で地域資料館がオープンし、今後の公民館活動の推進につながるものと期待しております。

(社会体育)

次に、社会体育について申し上げます。

1 1月11日には第62回川本町一周駅伝競走大会を実施し、町内の自治会、職場、学校を中心に21チームの参加がありました。その中には邑智中学校野球部、島根中央高校から9チームもの参加をいただきました。

今年のコースは県道川本大家線の通行止めにより、昨年につき川本と南佐木の往復のコースとなりましたが、町民の皆様にご協力をいただき、大いに盛り上がった大会となりました。

(ベンチャーキッズスクール)

次に、ベンチャーキッズスクールについて申し上げます。

ビジネスやものづくり体験を通し、起業や経営への関心を高める連続講座「ベンチャーキッズスクール」を開講し、川本小学校児童5人が、駅弁をテーマに商品開発に取り組みました。

1 1月19日には、飲食店や地域おこし協力隊、高校生の協力を得て、石見川本駅でエゴマ鴨や旬の食材を使用した駅弁60食を販売し、観光客に地元特産をアピールしました。

(人権教育)

次に、人権教育について申し上げます。

1 2月4日から10日にかけての第69回人権週間に合

わせて、人権尊重思想の普及高揚を図るため、12月7日に川本町人権を考えるつどいを悠邑ふるさと会館で開催しました。

今年度は、「子どもの人権」に焦点をあて、「好きになろう今の自分、表そう素直な気持ち」というテーマで、福永^{ふくなが}宅司^{たくじ}氏を招き、講演会を実施しました。一人芝居の「君をいじめから守る」では、いじめに屈することなく、力を合わせて立ち向かっていくことの尊さを講師の方から学びました。

(文化振興)

次に、文化振興について申し上げます。

10月21日に悠邑ふるさと会館で、NHK公開録画「俳句王国がゆく」の収録を開催しました。

昨年「NHK全国俳句大会」で最高賞の大賞を受賞された佐々木ミチ子さんが地元代表で出演するとともに、島根中央高校吹奏楽部も番組に花を添え、川本町をPRすることができました。

また、11月4日には大ホールにて久しぶりとなる演劇事業として、劇団新制作座による「泥かぶら」を開催しました。美郷町出身の主人公による迫真の演技は、会場を訪れた多くの皆様に感動を与えました。

つづいて、

「人と人が支え合う協働のまち」に関する動きについてであります。

(島根中央高校)

はじめに、島根中央高校について申し上げます。

部活動につきまして、カヌー部が10月1日から4日にかけて開催された第72回国民体育大会「愛顔をつなぐえひめ国体」に出場し、少年男子カヤックペア500メートルで、瀬上^{せがみかずき}一樹・小畑^{こはたよういち}陽一ペアが7位入賞、男子カヤックフォア500メートルで、中西^{なかにしりょうま}諒磨・渋田^{しぶたあつし}篤志・津山^{つやまたいち}泰地・蛸島^{たこじまけい}慶組が8位入賞を果たしました。吹奏楽部においては、5年連続となる第23回日本管楽合奏コンテストへ11月5日出場し素晴らしい演奏を披露いたしました。

(都市交流)

次に、都市交流について申し上げます。

10月29日に広島川本会総会が開催され、川本町の近況報告を行うとともに、様々なご意見をいただきながら交流を深めることができました。

今後はより一層関係者の方々と連携しながら、川本町の大切な応援団として活動いただけるよう支援を続けていきたいと考えております。

坂町との交流では、老人クラブ連合会が10月17日に、グラウンドゴルフの交流会を笹遊里を会場に行い、また、

役員の交流として11月29日、30日に、来春廃止となる三江線乗車なども交えて行いました。

11月16日には、自治会長連合会の交流が三島で行われ、グラウンドゴルフを楽しみました。これからも、より一層両町の交流を深めてまいりたいと考えております。

(企業誘致)

次に、企業誘致について申し上げます。

株式会社三協につきましては、来春の操業開始に向け、「島根川本工場」の建設工事が計画どおり進められております。

工場用地整備の第2期工事は、旧ライスセンター周辺や洪水調整池の整備等が10月末に完了いたしました。

人材確保では、現在、19人が幹部候補生として富士市の本社工場において研修中であります。また、来春の就職に向け、島根中央高校の生徒も内定を受けております。

10月に総務省の「ふるさとテレワーク推進事業」の交付決定を受け、来年3月にウェブ制作などを手掛ける松江市の「有限会社ウィルさんいん」が音楽研修棟で、業務を開始します。また、テレワークという新たな働き方等の普及・啓発に向け、12月13日に悠邑ふるさと会館でシンポジウムを開催いたします。

(ふるさと納税)

次に、ふるさと納税について申し上げます。

ふるさと納税につきましては、川本町出身者をはじめ多くの皆様から寄附をいただいております。11月15日現在の寄附状況は、151件、494万3千円となっております。

返礼品として、ツガニ、鮎甘露煮、三原米、エゴマ商品など旬の特産は大変好評をいただいておりますが、11月に本町のエゴマ生産者がテレビ番組で全国放映された以降、エゴマ油も2倍以上に急増しております。

国は、ふるさと納税のさらなる活用に向け、平成30年度から、クラウドファンディング型の「ふるさと起業家支援プロジェクト」と、ふるさと納税をきっかけに移住・定住を促す「ふるさと移住交流促進プロジェクト」を進めていくこととしており、動向を注視しながら、積極的に取り組んでいきたいと考えております

(窓口おもてなし)

次に、窓口でのおもてなしについて申し上げます。

今年度、11月末現在で、婚姻6件、出生13件、転入87人81件の届けがあり、窓口にて記念の品をお渡ししました。

また、婚姻と出生の届出書につきましては、川本らしいオリジナルの届出書を作製する予定としております。準備ができ次第新しい届出書に切り替えて記念の日をお祝いします。

今後も、「おもてなし」の心を持ち窓口対応に努めてまいります。

(提出議案等)

今定例会に提案しました案件は、条例案件3件、予算案件4件であります。

後ほど、担当課長から、これらの説明をさせますので、慎重なご審議をいただき、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。行政報告とさせていただきます。